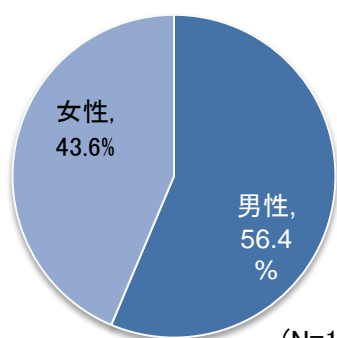


もりおか暮らしのアンケート 集計結果

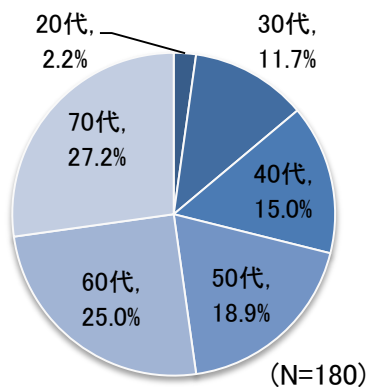
対象数	370世帯（平成26年8月19日現在） 盛岡市内のみなし仮設住宅（民間賃貸住宅借り上げ・市営住宅・県営住宅・国家公務員宿舎・雇用促進住宅）に入居中の世帯において、世帯の意見を代表する方、又は世帯主（主たる生計維持者）の方
回答数	182世帯
回答率	49.2%
実施期間	平成26年8月26日～9月10日
調査方法	郵送，原則無記名

回答者の属性

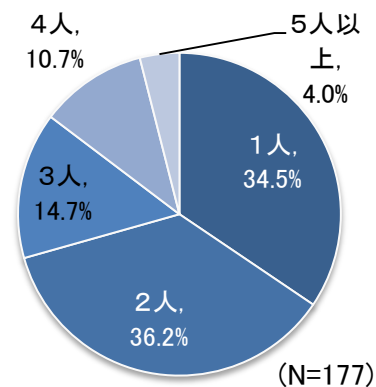
【性別】



【年齢】



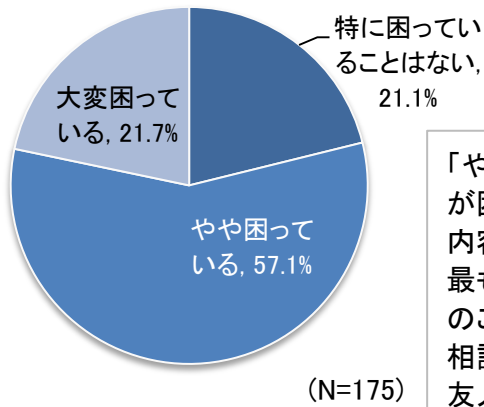
【世帯人数】



【避難元自治体】

避難元自治体	回答者数	割合
大槌町	34	22.5%
釜石市	24	15.9%
山田町	24	15.9%
宮古市	16	10.6%
陸前高田市	14	9.3%
大船渡市	10	6.6%
野田村	1	0.7%
宮城県	8	5.3%
福島県	20	13.2%
合計	151	

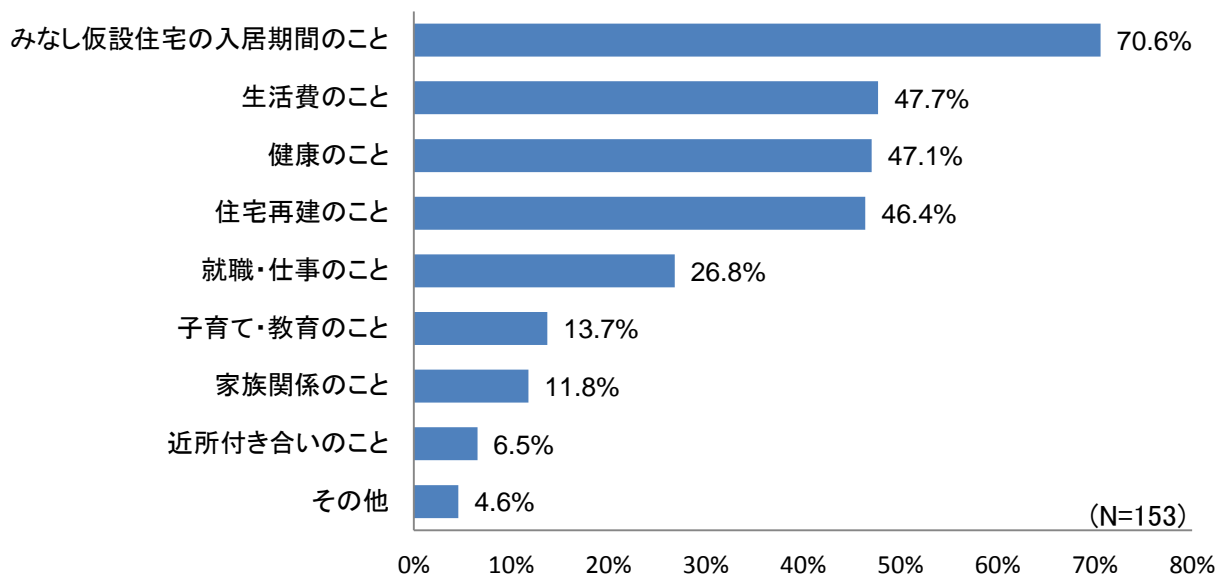
◆問1 あなたの暮らしの状況を教えてください。



「やや困っている」「大変困っている」を合わせると78.8%が困り事があると回答。
 内容は「みなし仮設住宅の入居期間のこと」が70.6%と最も多く、次いで「生活費のこと」「健康のこと」「住宅再建のこと」が多い。
 相談する相手は別居している家族・親類、同居の家族、友人が多い。

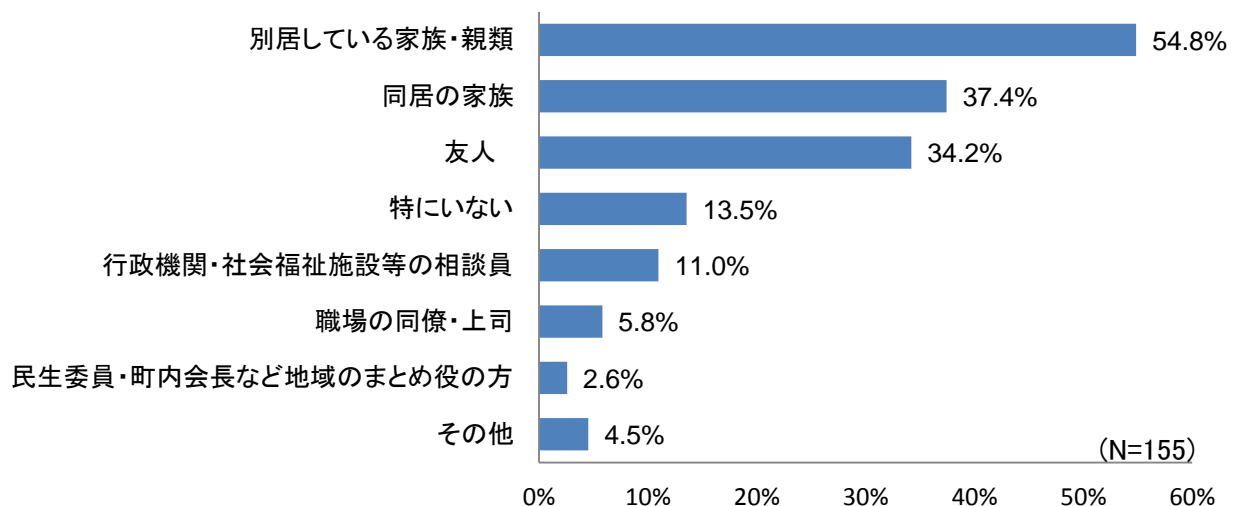
[問1で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。]

問1-1 現在の困り事や心配事は何ですか？(複数回答)

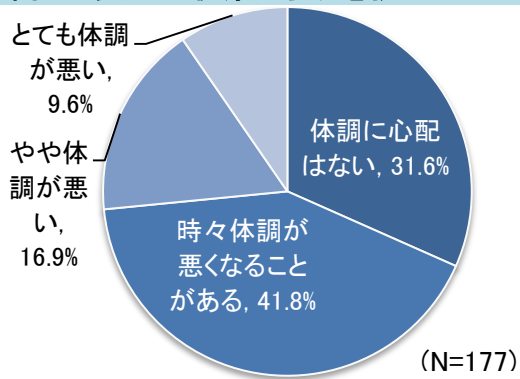


[問1で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。]

問1-2 生活上の困り事や心配事を相談する相手は誰ですか？(複数回答)

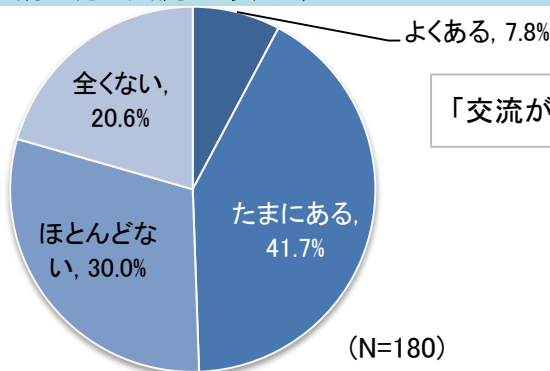


◆問2 あなたの健康の状況を教えてください。



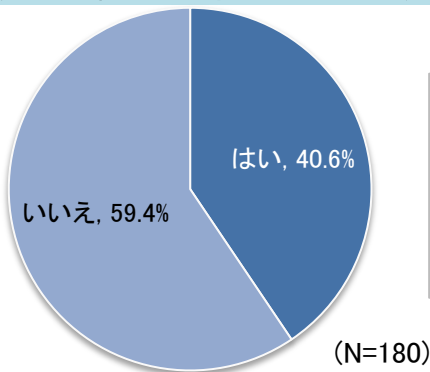
68.3%が体調に心配があると回答している。

◆問3 近所の方と交流はありますか？



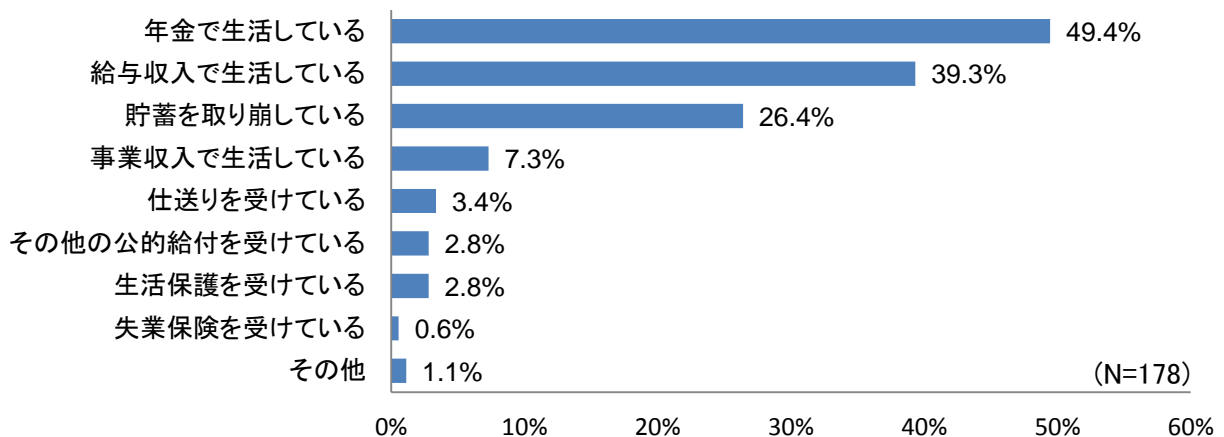
「交流がある」「交流がない」がほぼ同数となっている。

◆問4 あなたは、現在仕事をされていますか？

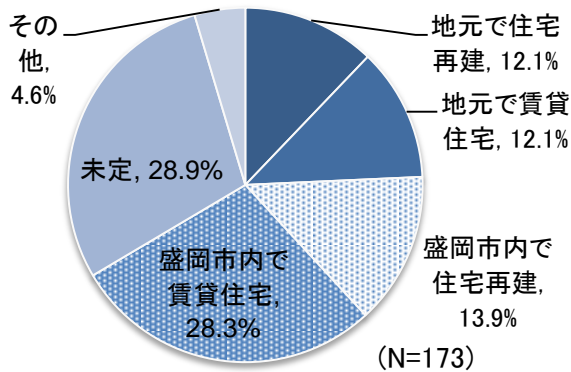


「仕事をしている」と回答したのは40.6%。
生計維持の手段は、年金が49.4%と最も多く、次いで給与収入が39.3%、貯蓄を取り崩しているとの回答が26.4%となっている。

◆問5 あなたの世帯は、どのように生計を維持していますか？（複数回答）



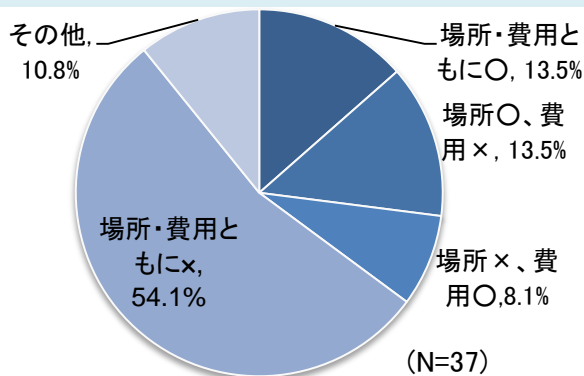
◆問6 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか？



震災前に住んでいた市町村に戻る意向との回答は、住宅再建・賃貸住宅合わせて24.2%。盛岡に定住する意向との回答は、合わせて42.2%。
未定の理由(任意・自由記載)は、経済的理由、仕事のため、通院のため、沿岸で宅地が決まらないため、原発事故の今後の影響に見通しが立たないため、との回答。

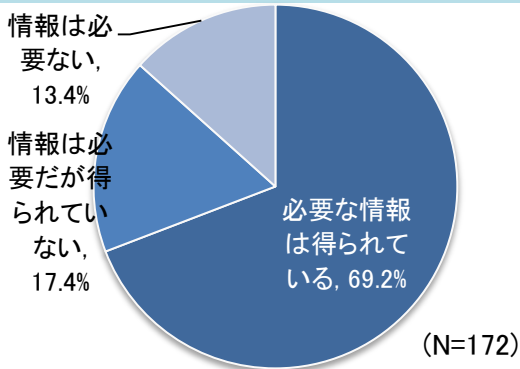
[問6で「震災前に住んでいた市町村で住宅を再建したい」又は「盛岡市内で住宅を再建したい」と回答した方にお伺いします。]

問6-1 住宅再建の目途は立っていますか？



54.1%が場所・費用ともに目途が立っていない。

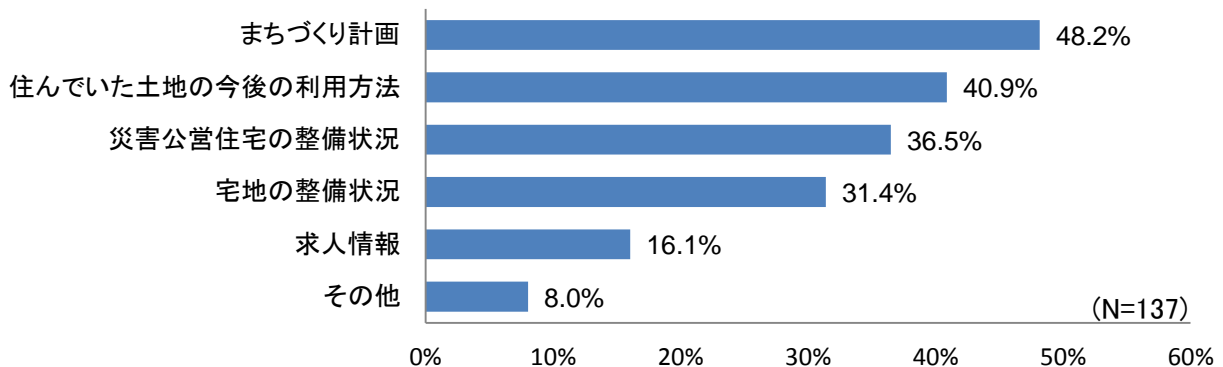
◆問7 震災前に住んでいた市町村について、あなたが必要な情報は得られていますか？



69.2%が「必要な情報は得られている」と回答。必要な情報は「まちづくり計画」が48.2%で最も多い。
情報の入手方法は「市町村の広報誌」が80.1%で最も多く、次いで新聞・テレビなどの報道が59.0%。

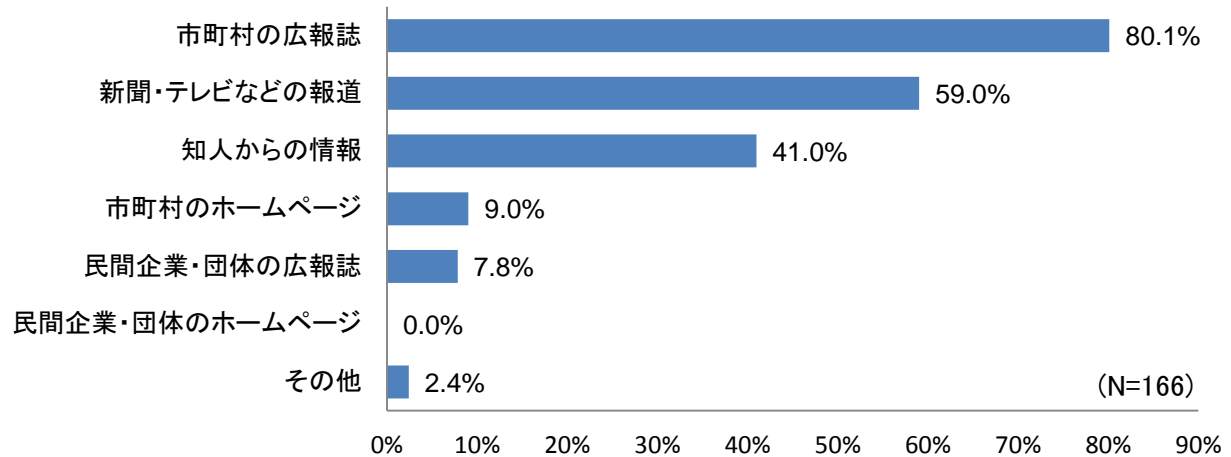
[問7で「必要な情報は得られている」又は「情報は必要だが得られていない」と回答した方にお伺いします。]

問7-1 震災前に住んでいた市町村について、必要な情報は何か？(複数回答)



[問7で「必要な情報は得られている」又は「情報は必要だが得られていない」と回答した方にお伺いします。]

問7-2 震災前に住んでいた市町村の情報は、どのようにして得ていますか？(複数回答)



◆問8 現在の困り事や心配事などのほか、盛岡での生活や将来について、日頃考えていることがありましたら自由にご記入ください。

【主なもの】

- ・実家の両親と住みたいが、なかなか土地を離れようとせず住めずにいる。だが、地元のアパートは狭く一緒に住めない。子どものことを考えると、このまま盛岡にいたほうが良いと思う。
- ・ローンさえ通れば住宅を再建したいと考えているが、なかなかうまくいかない。
- ・震災後、とにかく働かないと生活ができなかったため就職したが、震災前に働いていた会社よりもかなり給料が少ないため、生活水準を下げている。
- ・お金はかかるが、県都で気ままに、地元のしがらみを離れ生活している。ただアパートの家賃支援がなくなったら、家賃の安い物件に移らなければならない。
- ・高齢者なので、早く地元へ帰って安心して生活したい。
- ・車の運転ができないため、交通の便などを考えると盛岡は非常に住みやすい。このまま盛岡に住み続けたいと思っている。
- ・子どもの健康が気がかり。放射線の影響が今後どうなっていくのか不安に思う。
- ・事業収入と遺族年金で生活しており、みなし仮設に入居させていただいているおかげでなんとか暮らしている。民間賃貸住宅の家賃が高く、なんとかして公営住宅に入れられないものか。もともと母子家庭なのでなかなか生活再建できない。
- ・就職できないので、生活費に困っている。
- ・震災前の市町村に戻る可能性を探りつつも、自分の年令と家族の意見から、盛岡市定住へ傾きつつある。仕事と収入の面から考えると、生活基盤は盛岡市で確保せざるを得ないと考えている。盛岡市でも災害公営住宅をつくっていただきたい。
- ・震災前の家にもどった時の医療体制が不安。その為、盛岡近くに移る事も考えている。
- ・今はみなし仮設住宅だが、入居期間が終了になると、家賃を払っていけるかどうか心配。子供の教育費も心配。
- ・盛岡に住宅を建てたくても、土地購入や建築費用の目処が全く立っていないので、決めることができず、これから先どこに住めば良いのか不安。若くないので、住宅ローンを組んだとしても完済が出来ないと思う。
- ・盛岡への移住にあたって、土地情報、住宅情報がほしい。
- ・医療費一部負担金等免除が延長になるといいと考えている。
- ・希望している災害公営住宅の完成予定が一番最後になりそうなので、それまでこのアパートにいられるのか心配。